むこのしょう
武庫庄

尼崎市立武庫庄小学校
学校だより
令和8年10月16日

ムコノショウ　庄　プラス1
～今日より明日を良くする心を創る　「明日はできる」今日に挑戦!!～

ともに響き合い、高まり合う子ども達へ
～全国学力状況調査の成果と武庫庄小のこれからの歩み～

爽やかな風が心地よい季節となりました。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動へ温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。さて、今年度４月に６年生を対象に実施いたしました「全国学力・学習状況調査」の結果がまとまりました。武庫庄小学校の子ども達は、国語・算数の両教科において全国平均を大きく上回る素晴らしい成果を発揮してくれました。ご家庭での温かい励ましと学習へのご支援に、深く感謝申し上げます。今回見えてきた「本校の強み」をしっかり伸ばしながら、新たな「学びの課題」にも全員で手を取り合って取り組んでまいります。調査結果のトピックスと、これからの武庫庄小のチャレンジについてご報告いたします。

【学力向上担当より】　　令和8年度全国学力・学習状況調査結果について

1. 自校・市・全国の平均正答率の比較

令和8年4月に全国の小6と中3を対象とした「全国学力・学習状況調査」が実施されました。
本校の結果等について、報告します。
武庫庄小6年生は、調査のあった国語、算数の2教科ともに、全国の平均を上回る結果でした。

国語　平均正答率			算数　平均正答率		
（本校）	（全国）	（本校－全国の差）	（本校）	（全国）	（本校－全国の差）
76%	62%	+14%	69%	57%	+12%

2. 自校の課題に対する改善策

〈国語〉

全ての問題において、全国、県平均の正答率を上回っています。特に、主張しようとしていることに合わせて事例を選択する問題や、提示された文章の要点を捉える問題、書かれた文章の特徴や工夫を捉える問題、図が表していることを正しく説明した文章を選ぶ問題などは特に正答率が高い結果でした。一方で、複数の条件指定（文字数指定、引用した文章の書名を明記することなど）で文章を書く問題は他の問題と比較するとやや正答率が低く、課題が見られました。

そこで本校では、国語科や朝学習の時間の中で【目的に応じた構成を考えて文章に書く力】を高める取り組みを進めてまいります。様々な学習活動の中で、相手に伝わるように順序などの文章の組み立てを考えて表現したり、図表やグラフなどの資料を適切に使いながら説得力のある文章を書いたりする活動を日常的に取り入れていきます。

〈算数〉

全ての問題において、全国、県平均の正答率を上回っています。特に図形分野については全国平均よりも特に高い正答率でした。また、分母の異なる2つの仮分数の大きさの比べ方を説明する問題では、通分、帯分数化、小数への変換など、自分に合った考え方を活用して回答することができている児童が多く見られました。一方で、問題文の読み落としが原因と見られる誤答傾向が少し見られたことや、割合を活用して数値を求める問題、問題解決のためにどの表のどの部分を見て考えるとよいかを説明する問題の正答率が他の問題よりもやや低くなっていたことなどに課題が見られました。

そこで本校では、【題意を正確にとらえ、解決方法を分かりやすく表現する力を高める取り組み】を進めてまいります。問題を細部まで読み、何を問われているのか、問題を読んで分かることは何なのかを確認したり、図で表したりする活動を日常的に取り入れ、解決方法の見通しをもって思考を整理する力の習得を目指します。また、1人でじっくりと課題に向き合って思考する時間を確保し、自分なりに答えを導き出したり、その考えを筋道立てて説明したりする活動を日常的に取り入れていきます。

〈全体的に〉

質問紙の回答を見ると、「学級全体をよりよくするために話し合って解決方法を考えている」「人の役に立ちたいと思っている」と回答した児童の比率が特に全国平均よりも上回っていました。一方で、「自分と違う意見について考えるのが楽しい」「人が困っている時に進んで行動している」と回答した児童の比率はやや低い傾向にあります。このような結果から、本校では、学級や学年としての「自治」「主体性」「集団力」「集団の雰囲気」をさらに高めながら、1人でも自信を持って行動できるよう、1人1人にさらに自信を持たせるような声掛けや関わりを意識していきます。また、教師と児童との関係づくりだけではなく、児童同士でも互いの違いを認め合い、自分の思いや考えを安心して発言できる学級の雰囲気作りに努め、互いに高め合えるような集団に育てていきます。どの学年でも、学級づくりや授業づくりの主役は自分たちであるという自覚を持たせ、主体的に考えて行動できる子を育てていけるよう、取り組んでいきます。